## 看護部ホームページ リニューアルしました



https://yachiyo-reha.com/department/kangobu/

## リハビリ部 ホームページ 開設しました



https://yachiyo-reha.com/department/rehabilitation/

## 病院周辺マップ




### 交通のご案内

**<京成電鉄勝田台駅からのご案内>**

勝田台駅から東洋バスで
米本団地行15分
「八千代リハビリテーション病院」
停留所下車

**<お車をご利用のご案内>**

国道16号線柏方面からお越しの方

**米本交差点**を
**右折し病院後方入口**より
お入りください。

国道16号線千葉方面からお越しの方

**米本交差点**を
**通過のうえ病院正面入口**を
**左折**してください。

**<送迎バスのご案内>**

京成勝田台駅北口、千葉ニュータウン駅より無料送迎バスが運行しています。
詳しくはHPを
ご確認ください。

当院HP▶


八千代リハビリテーション病院　広報誌
クローバー vol.54
令和6年　12月発行

企画発行
八千代リハビリテーション病院
広報委員会


〒276-0015　千葉県八千代市米本1808番地
TEL 047-488-1555 ／ FAX 047-488-1552




https://yachiyo-reha.com


広報誌　Clover ／2024.12
Yachiyo Rehabilitation Hospital


# クローバー vol.54

CONTENTS


2·3P ✤ 夏祭り
4P ✤ 病院機能評価報告
✤ 関東KG学術大会
5P ✤ KG医療連携会 千葉地区
✤ ふれあい看護体験
6P ✤ 防災研修会・避難訓練
7P ✤ 健康教室
✤ むすびプロジェクト
8P ✤ 看護部ホームページ リニューアル
✤ リハビリ部サイト開設



カマチグループ
一般社団法人 巨樹の会
八千代リハビリテーション病院
〒276-0015　千葉県八千代市米本1808番地
https://yachiyo-reha.com


八千代リハ花火大会 屋外歩行路で打ち上げ

# 夏祭り

8月8日に患者様に気分転換と季節感を感じて頂きたく、今年も夏祭りを開催しました。

お祭り気分を満喫してもらえる様に、職員は浴衣や法被を、患者様はお面や手ぬぐいを身につけました。ハンドメイド、玉入れ、ドリンク・デザートなどの出店や、患者様とスタッフで行う盆踊りを実施し大好評でした。病棟対抗ゲームでは、競技する患者様も応援する患者様も大きな声を出して盛り上がりました。夏祭り後には、患者様から喜びの声を頂き、スタッフ一同開催して良かったと感じることができました。

これからも患者様に充実した入院生活を送ってもらえる様に、様々なイベントを開催していきたいと思います。



病棟対抗ゲームで盛り上がりました



患者様とスタッフで盆踊りを楽しみました



キーホルダー作成中



お面してゲームに挑戦中
点数を争いました

# 病院機能評価認定

この度、八千代リハビリテーション病院は2024年8月23日に公益財団法人　日本医療機能評価機構による「機能種別版評価項目3rdG：Ver.3.0」の認定を受けました。

この認定は、患者様に安全で質の高い医療を提供する体制が整っていることを示すものであり、医療の質やサービスの向上に向けた当院の取り組みが評価された結果です。

私たちはこれからも、地域の皆様に信頼される医療機関を目指し、患者様一人ひとりに寄り添った医療を提供する努力を続けてまいります。


認　定　証
Certificate of Accreditation
認定第JC2573号
Accreditation Number
主たる機能：リハビリテーション病院
Rehabilitation Hospital
機能種別版評価項目3rdG：Ver.3.0
一般社団法人巨樹の会
病院名
八千代リハビリテーション病院
Yachiyorehabilitation hospital
殿
貴病院が日本医療機能評価機構の定める
認定基準を達成していることを証する
This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JQ accreditation standards.
認定期間：2024年8月23日～2029年8月22日
受付日：2024年6月12日
初回認定：2024年8月23日
（認定回目）
公益財団法人　日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care
代表理事　理事長　河北　博
Chairman of the Board　Hiroboumi Kawakita

## 病院機能評価とは…

厚生労働省が定める基準に基づいて病院が提供する医療サービスの質と安全性を国の基準で、公益財団法人　日本医療機能評価機構が評価する制度です。

病院の組織運営、医療提供体制、患者様対応など多岐にわたる基準について評価が行われます。この認定を受けた病院は、これらの基準を満たしていることが確認されています。

第21回

# 関東KG学術大会

令和6年9月28日（土）に第21回関東KG学術大会へ参加しました。この学術大会は、看護、リハビリ、栄養などの研究を発表して今後のリハビリテーション医療につなげていく事を目的とし開催されました。グループの19施設が参加し、約400名が集まりました。当院からは2題発表いたしました。参加者から発表に対する意見交換が活発に行われ、有意義な時間を過ごすことができました。各施設での新たな取り組みを知ることができ私自身も新たな業務にチャレンジしてきたいと感じました。





**金賞受賞**
**山本看護師コメント**

今回学術大会に参加し、「生成AIを用いた危険予知トレーニングの精度の検証」という内容で発表を行い、金賞を獲得する事ができました。

日頃から行っている医療安全活動が評価され、自信に繋がる機会となりました。今後は、現在の取り組みの効果を検証し、当院が行っていることが医療の質向上に大きく貢献していることを、より多くの職員や患者様に知ってもらいたいと考えています。

今回の発表にご協力いただいた院内の職員の皆様、ならびに関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



第2回

カマチグループ

# 医療連携会

- 千葉地区 -

第2回カマチグループ医療連携会千葉地区が10月4日にTKP幕張ホールで開催されました。日頃お世話になっている近隣医療機関や施設の方々300名が来場されました。今回はカマチグループの実績報告と昨年より関東カマチグループ病院で発足し今年8月より全病院で開始となった“身寄りに問題を抱える方の支援プロジェクト”について報告いたしました。

2部の懇親会では、ご来賓の方からもご挨拶をいただき、歓談の時間は各々が交流を深められる時間を過ごすことが出来ました。今後も顔の見える連携を大切にし、質の良い医療とリハビリテーションの提供、さらに地域貢献ができる回復期リハビリテーション病院として努めて参ります。








# ふれあい看護体験

今年も「看護の実践場面の講義や見学を通して、看護についての知識や理解を深める」という目的で、千葉県看護協会主催の「ふれあい看護体験」が開催され、当院にも2日間で7名の高校生が参加されました。

午前中は学生同士で患者役になり身体測定を行いました。病棟ではバイタルサイン測定の場面や、看護処置、搬送方法、配膳下膳や食事介助の実際、感染予防の手洗いや手指消毒の基本動作を病棟担当看護師と一緒に行いました。午後はカンファレンス・勉強会の参加など盛りだくさんでした。

また、1回目は当院の夏祭りイベントも重なった為、患者様と一緒になってお祭りを楽しむこともできました。最後に一日を振り返り看護協会からの参加証明書を看護部長より渡され笑顔で終了しました。

数年後に一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています。















災害対策委員会

# 防災研修会・避難訓練

災害対策委員会では、今年度の避難訓練に向けて事前に研修会を行い、より病院運営に沿った訓練となるように努めました。9月18日には消防署の現役隊員の方を講師にお招きし、徒手搬送、簡易担架の作製・搬送、車椅子での垂直搬送方法の研修会を実施しました。10月16日の前期避難訓練では、研修会で実施した搬送方法で各階避難誘導を行いました。後期避難訓練では、夜間帯を想定した訓練を実施し、職員が少ない状況でも迅速に避難誘導ができるように訓練を実施する予定です。










# 健康教室

当院では入院･外来患者様やご家族を対象に、10年程前から『健康教室』を開催しています。『健康教室』とは、退院後の生活を少しでも安心･安全に生活できるよう、ポイントをお伝えさせていただく教室です。医師やリハビリテーション職員、看護師など各専門医療職員から講義だけでなく、実技も交えて、「できるだけわかりやすく」「明日の生活に役立つ」をテーマにお伝えさせていただいています。

ご参加頂いた方々からは「全く知らないことから少し興味がもてるようになった」「実技を通して自分に合う運動をみつけることができた」などありがたいメッセージを頂いています。

詳しくは総合受付、各階病棟にポスターを掲示しておりますのでぜひご覧下さい。




# むすびプロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者さまが、
その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介いたします。

## 「福祉と医療の連携を考える会」参加&発表

福岡県を中心に活動されている、「NPO法人　列島会」「社会福祉法人　あきの会」「NPO法人　ゆとり」（以下、3法人）が合同で主催する「福祉と医療の連携を考える会」へ参加しました。3法人は多岐にわたる福祉事業を展開されており、事業内容は訪問看護･介護、グループホーム、療養介護、医療型児童入所施設、就労継続事業、計画相談など幅広い支援をされています。

当日は、「高次脳機能障害の医療と福祉」についてシンポジウムが行われました。当事者家族の生の声や、行政、支援事業所の活動や思いなどを聞くことができ、高次脳機能障害への理解をより深く理解することができました。また、この会には地域の方も参加されており、高次脳機能障害の理解と地域活動を広げる機会となりました。

トピックス発表でむすびプロジェクトの活動報告、公式LINEで行っている退院後の支援、復職･就労支援が必要な患者さまへの取り組みを中心に発表させていただきました。この発表を通じて、今後も3法人とむすびプロジェクトの連携を深め、回復期リハビリ病院に入院される方、退院された方へより良いサービスが提供できるよう取り組みます。






